

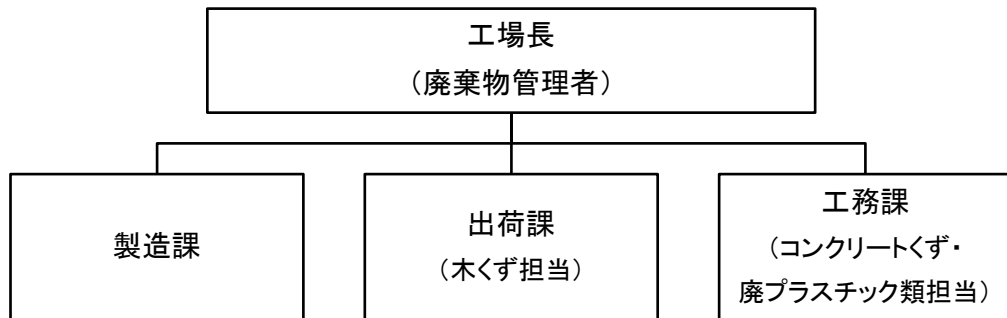
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年9月11日	
群馬県知事 殿	
提出者 〒371-0803 住 所 群馬県前橋市天川原町2-41-1 2F 氏 名 マチダコーポレーション株式会社 代表取締役社長 町田 憲昭 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 027-225-2014	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	マチダコーポレーション株式会社 群馬工場
事業場の所在地	群馬県伊勢崎市富塚町180
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：窯業・土石製品製造業
②事業の規模	売上高：220百万円
③従業員数	37人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 収集運搬委託、処分委託 木くず 収集運搬委託、処分委託 廃プラスチック類 収集運搬委託、処分委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず
	排出量	3473.6 t	13.8 t
	（これまでに実施した取組） コンクリートブロック生産時の不良改善によるコンクリートくず排出の抑制。 木製パレットの破損部修理による木くず排出の抑制。 製品保護用袋の再利用による廃プラスチック類排出の低減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず
	排出量	3000 t	10 t
	（今後実施する予定の取組） コンクリートブロック生産時の不良改善によるコンクリートくず排出の抑制の継続。 木製パレットの破損部修理による木くず排出の抑制の継続。 製品保護用袋の再利用による廃プラスチック類排出の低減の継続。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートくず、木くず、廃プラスチック。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類の細分別化。

廃プラスチック類			
12.6 t	t	t	t

廃プラスチック類			
10 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	3473.6 t	13.8 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3473.6 t	13.8 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	コンクリートブロック生産時の不良改善によるコンクリートくず排出の抑制。 木製パレットの破損部修理による木くず排出の抑制。 製品保護用袋の再利用による廃プラスチック類排出の低減。		

t	t	t	t

t	t	t	t

廃プラスチック類			
12.6 t	t	t	t
6.7 t	t	t	t
5.9 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず
	全 処 理 委 託 量	3000 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) コンクリートブロック生産時の不良改善によるコンクリートくず排出の抑制の継続。 木製パレットの破損部修理による木くず排出の抑制の継続。 製品保護用袋の再利用による廃プラスチック類排出の低減の継続。		
※事務処理欄			

廃プラスチック類			
10 t	t	t	t
5 t	t	t	t
5 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t